

草津PAと連携した滋賀県南部エリア活性化基本構想（案）
提出された意見と市の考え方

No	意見概要（ページ数）	市の考え方
1	<p>全般、特にP.7上段です。</p> <p>当地域に在住していると、大津市との市境からか、各種検診など行政サービスの断絶や不便さを感じており、この構想の内容も草津市南部の課題に強くフォーカスされ、バランスを欠いているように感じます。</p> <p>今回、広域防災の観点が入っていることは心強いです。今後地域間連携のあり方について見直しがされることに期待します。そのために、本構想の各種施策で実施主体の役割を明示されて、意識化することが必要だと考えます。</p>	<p>対象エリアの地域間連携のあり方や基本構想に係る施策の事業主体については、基本構想に引続き策定する基本計画において検討を行ってまいります。</p>
2	<p>P5で「高速バス⇔路線バス⇔JRの利用環境の充実による公共交通の利便性の向上を図る」とあるが、整備された草津PAに老上西学区からバスを利用する場合、「夜行高速バスに乗るため、草津PAへ行くにもバスが終了」「びわこ文化公園都市からイオンモール草津へ向かおうと思ったら南草津駅で40分待ち」が無いよう、乗継ぎも考慮した利便性を考えて進めていただきたい。</p>	<p>対象エリアの公共交通の利便性向上については、乗継ぎなどの利用者の利便性を含め、基本構想に引続き策定する基本計画において検討を行ってまいります。</p>

No	意見概要 (ページ数)	市の考え方
3	<p>P5、7 の日常的に利用できる利便施設などが少ない点が課題で、「飲食、物産、レジャー機能」の検討を進めるとあり良い視点だと思う。</p> <p>その効果をあげるのに滋賀ダイハツアリーナの広範な目的での利用の推進を提案します。</p> <p>1万人を収容できる展示場やホールは滋賀・京都に無く、5千人規模の当アリーナが暫く最大規模の施設となる。</p> <p>また、スポーツ以外のライブ利用など実績も少ない。利便施設の具体化と同時期に当アリーナをコンサートホール等として利用するような喚起・誘致をしてはと考えます。</p> <p>さらに日本に展示場は少ないのだから、国縣市産学連携で京滋の拠点となる数万平米の展示場を草津 PA 周辺に設置することも長期的視野に入れてはと考えます。</p>	<p>滋賀ダイハツアリーナを含め、びわこ文化公園都市との連携については、基本構想に引続き策定する基本計画において検討を行ってまいります。</p>

▼原案への反映について

パブリックコメントの実施結果による構想（案）の修正・変更はありません。

お寄せいただいた御意見は、計画に基づく具体的な取り組みにあたっての参考とさせていただきます